

訂正頁		誤		正(追加)	
86	第二章 歴史	5行目見出し	縄文遺跡	縄文時代の遺跡	
82	上段10行目	明治二十七年		明治三年	
82	上段7行目	明治二十五年		明治二十八年	毛附トンネル〔追加〕
79	脚注9行目				
70	14行目	栃本大村家		栃本大村家	
67	脚注11行目	三郎兵衛泰之		三郎兵衛泰之	
63	コラム写真説明	幟旗を由干しする金井アイさん		幟旗の由干し	
59	前4行目	野上と対岸の		本野上と対岸の	
58	脚注15行目	(野上く岩田)		(野上く岩田)	
58	脚注14行目	(野上く井戸)		(中野上く井戸)	
58	脚注6行目	(大宮郷く別所)		(滝坂く別所)	
58	前6く7行目	…まで川越し、人足が旅人…		…までは川越しで、人足が旅人…	
55	脚注1行目	緑泥片岩		緑泥石片岩	
41	上段2行目	開化の季節		開花の季節	
33	脚注4行目	辛島覚範入道		幸島(さしま)覚範入道	
31	脚注3行目	滋賀坂峠		志賀坂峠	
30	脚注3行目	堆積石		堆積岩	
29	7行目	長瀬多宝寺		本野上多宝寺	
24	6く8行	甲信側には富士、八ヶ岳…そのため		【削除】	
20	下段13行目	夕もやに暮れおれらもだせり		夕もやに暮れわれらもだせり	
20	下段11行目	(ようばけ)		(おかの化石館前)	
20	下段7行	稗なもやうの博多帯		「稗なもやうの博多帯」	
20	上段17行目	秩父を訪れ、		秩父を訪れたとも思われ、	
20	上段2行目	盛岡農林学校		盛岡高等農林学校	
36	下段9行目	宝登山 ルビ ほとさん		ほとさん	
19	2行目				
18	12行目	宝曆一四(一七六四)		宝曆一四(明和元・一七六四)	
16	4行目	白石山 ルビ じろいしやま		しろいしやま	
15	秩父の地形(図)			「埼玉の自然をたずねて」(築地書館) 参考	
15	地質年代表	古筆紀		古三筆紀	
表見	地図 北(上)	上吉田		下吉田	

訂正頁		誤		正(追加)	
87	7行目	両神薬師堂では		両神の薬師堂遺跡では	
87	14行目	中期後半から後期前半にかけて遺跡…		中期後半には遺跡…	
88	9行目	石鏝は東北地方の石材だった。		石鏝は東北地方の石材が含まれていた。	
88	脚注1く2行目	黒曜岩・粘板岩を材料にした		チャート・黒曜岩等を材料にした	
89	土器編年表	大日影(長瀬)		大日陰(長瀬)	
89	土器編年表	早期・押型文系・田戸上層・合角川入岩陰(吉田)		(小鹿野)	
91	2行目	秩父・吉田井上に限って		秩父・下吉田井上と小鹿野町小鹿野に限って	
93	図			「埼玉の古墳 比企・秩父」(さきたま出版会)より	
95	12行目	削平されたが、墳丘は残っている。		削平され、墳丘は残っていない。	
97	9行目			ただし、円墳とする説もある。	
98	8行目	前方後円墳		大型前方後円墳	
100	コラム・見出し	条里		条里	
101	10行目	(埼玉県本庄町)		(埼玉県本庄市)	
105	10・12行目	(大系図)		(千葉大系図)	
129	下写真説明	大滝村		秩父市大滝	
137	表・1757年の項	2,279		6,375	
146	写真説明	左端		右端	
161	5く6行目	(大正三年・一九一四、秩父鉄道と改称)		(大正五年・一九一六、秩父鉄道と改称)	
161	8行目	四月に出されたが		四月に提出されたが	
166	表	『秩父セメントの五〇年史』		『秩父セメント五〇年史』	
173	上段・7行目	(道徳神焼き)		(道徳神焼き)	
178	下段・2く3行目	宵宮かその前日の祭りである		その前日の宵宮が祭りである	
180	上段・16行目	異形民俗文化財		異形民俗文化財	
217	上段・10く11行目	瓢箪		瓢箪	
304	上段・15行目	おやし		おじや	
306	9行目	カタクリ 秩父市花の山道・武川岳・久昌寺		秩父市花の山道・横瀬町武川岳・秩父市久昌寺	
307	8行目	ヤシオツツジ 秩父市小持山		【削除】	
308	8行目	日/旧暦一月一五日前後		一月二五日前後(12月の項に移動)	
313	2行目	備考欄/公開堂		公会堂	

